



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 アイエックス・ナレッジ株式会社

コード番号 9753 URL <http://www.ikic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安藤 文男

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長兼経理部長

(氏名) 石井 嘉範

TEL 03-6400-7000

四半期報告書提出予定日 平成27年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	8,764	9.2	206	—	239	500.7	165	713.0
27年3月期第2四半期	8,022	5.2	13	△69.4	39	△32.3	20	△50.3

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
28年3月期第2四半期	14.27	—	—	—
27年3月期第2四半期	1.73	—	—	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	8,813	—	3,968	—	45.0	—
27年3月期	9,165	—	4,041	—	44.1	—

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 3,968百万円 27年3月期 4,041百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	—	—	7.00	7.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,072	1.7	626	21.5	656	17.1	408	6.9	34.73

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	13,034,660 株	27年3月期	13,034,660 株
28年3月期2Q	1,572,823 株	27年3月期	1,276,373 株
28年3月期2Q	11,590,435 株	27年3月期2Q	11,763,066 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の2ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第2四半期累計期間	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

※ 当社は、以下のとおりに投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・平成27年11月13日(金)・・・機関投資家・アナリスト向け

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策「アベノミクス」が第2ステージ（新3本の矢）へ移行しつつある中、企業業績や雇用情勢に改善の兆しが見られ、景気は緩やかな回復基調が続いてまいりました。しかしながら、中国経済の減速懸念に加え欧州や新興国における不安定な経済情勢を背景として先行き不透明感が払しょくできない状況にあります。

情報サービス市場におきましては、この10月から施行されたマイナンバー制度や2020年に開催される東京オリンピックに向けた設備投資への期待により、製造業を中心に国内企業のIT投資が堅調に推移しております。また、IoTの進展、クラウドビジネスの拡大などにより多様化する顧客ニーズへの対応が求められています。

このような状況において当社は、引き続き需要が見込まれる金融分野での受注体制の強化や情報インフラの構築・運用支援業務の効率化を図るために事業部門の組織をこの期初に再編するとともに、営業力を強化するため一部において製販一体の体制を敷くなど、事業の選択と集中を着実に実践してまいりました。

当期間での事業別状況を見ますと、コンサルティング及びシステム・インテグレーション・サービス業務では、金融分野において、メガバンク向け次期システム開発が堅調に推移していることに加え、生保や、信託系の証券業務においても既存顧客を中心に受注規模が拡大し、売上高は大きく増加しました。社会・公共分野では、国民保険システム開発の受注拡大や前期から続くマイナンバー関連業務の堅調な推移により売上高は増加しました。一方、情報・通信分野は、顧客のシステム投資が鈍化したこともあり、売上高は微増に留まりました。また、産業・サービス分野では、人材サービス業における経理システム再構築案件を新規に取り込み、長期的な案件として受注することができましたが、広告代理店向けのシステム開発等の大型案件が収束したことにより、売上高は低調に推移しました。

システムマネージメントサービス業務においては、統合システム運用管理ツールを利用したシステム運用案件を中心に既存業務の受注規模を維持し、ほぼ横ばいの売上高となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高8,764百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益206百万円（前年同期は13百万円の利益）、経常利益239百万円（前年同期比500.7%増）、四半期純利益165百万円（前年同期比713.0%増）をそれぞれ計上しました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は8,813百万円となり、前事業年度末に比べ352百万円減少しました。これは主に「現金及び預金」の減少326百万円によるものであります。

#### (負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は4,844百万円となり、前事業年度末に比べ279百万円減少しました。これは主に「その他」に含まれる「未払消費税等」の減少232百万円によるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は3,968百万円となり、前事業年度末に比べ73百万円減少しました。これは主に「自己株式」の増加116百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の44.1%から45.0%となっております。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前事業年度末に比べ326百万円(9.1%)減少し、当第2四半期累計期間末には3,260百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は26百万円(対前年同四半期比83.2%減)となりました。

これは主に収入では税引前四半期純利益の計上255百万円であり、支出では未払消費税等の減少232百万円を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は40百万円(対前年同四半期比79.9%増)となりました。

これは主に収入では投資事業組合からの分配による収入19百万円、有価証券の売却による収入18百万円、支出では有価証券の取得による支出71百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は312百万円(対前年同四半期比0.6%増)となりました。

これは主に自己株式の取得による支出116百万円、長期借入金の返済による支出113百万円、配当金の支払額81百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期第2四半期累計期間の業績予想につきましては、平成27年4月30日に公表いたしました業績予想と差異が発生しております。詳細は平成27年10月30日公表の「第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

また、平成28年3月期通期の業績予想につきましては、平成27年4月30日に公表しました業績予想から変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

四半期会計期間に係る法人税等については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,587,077	3,260,801
受取手形及び売掛金	2,547,671	2,453,840
商品	3,556	-
仕掛品	351,889	449,654
繰延税金資産	401,532	401,532
その他	185,722	158,274
流動資産合計	7,077,450	6,724,103
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	106,548	100,516
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	53,661	46,905
土地	116,992	116,992
リース資産(純額)	11,069	9,408
有形固定資産合計	288,271	273,823
無形固定資産		
ソフトウェア	45,928	34,986
その他	32,396	32,396
無形固定資産合計	78,324	67,382
投資その他の資産		
投資有価証券	786,308	781,233
繰延税金資産	699,733	719,110
その他	235,762	247,374
投資その他の資産合計	1,721,803	1,747,719
固定資産合計	2,088,400	2,088,925
資産合計	9,165,851	8,813,028

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	620,650	596,877
1年内返済予定の長期借入金	194,800	111,800
未払金	305,880	281,917
リース債務	3,313	3,328
未払法人税等	19,057	101,819
賞与引当金	811,390	841,291
受注損失引当金	17,093	28,346
その他	441,638	226,440
流動負債合計	2,413,823	2,191,820
固定負債		
長期借入金	225,000	195,000
リース債務	7,848	6,180
退職給付引当金	2,241,386	2,262,139
資産除去債務	60,924	61,558
長期末払金	174,432	127,184
長期預り敷金	509	509
固定負債合計	2,710,100	2,652,572
負債合計	5,123,923	4,844,393
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,180,897	1,180,897
資本剰余金	1,859,565	1,859,565
利益剰余金	1,179,171	1,262,242
自己株式	△324,320	△440,530
株主資本合計	3,895,313	3,862,174
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	146,613	106,461
評価・換算差額等合計	146,613	106,461
純資産合計	4,041,927	3,968,635
負債純資産合計	9,165,851	8,813,028

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	8,022,808	8,764,807
売上原価	6,804,355	7,397,167
売上総利益	1,218,452	1,367,640
販売費及び一般管理費	1,205,315	1,160,708
営業利益	13,137	206,931
営業外収益		
受取利息	1,082	444
受取配当金	17,963	16,844
投資事業組合運用益	6,919	16,700
その他	4,600	4,099
営業外収益合計	30,566	38,088
営業外費用		
支払利息	2,750	1,777
為替差損	-	1,303
支払手数料	-	633
雑損失	1,052	1,618
営業外費用合計	3,803	5,332
経常利益	39,900	239,687
特別利益		
投資有価証券売却益	-	15,850
特別利益合計	-	15,850
特別損失		
固定資産廃棄損	467	17
特別損失合計	467	17
税引前四半期純利益	39,433	255,520
法人税等	19,092	90,141
四半期純利益	20,340	165,378

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	39,433	255,520
減価償却費	38,571	32,847
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△7,252	20,753
賞与引当金の増減額(△は減少)	234,375	29,901
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△329,197	11,252
受取利息及び受取配当金	△19,046	△17,288
支払利息	2,750	1,777
投資事業組合運用損益(△は益)	△6,919	△16,700
固定資産廃棄損	467	17
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△15,850
売上債権の増減額(△は増加)	120,917	93,830
たな卸資産の増減額(△は増加)	72,228	△94,207
仕入債務の増減額(△は減少)	△21,448	△23,772
未払消費税等の増減額(△は減少)	109,095	△232,876
長期未払金の増減額(△は減少)	△51,679	△47,248
その他の資産・負債の増減額	6,532	20,066
小計	188,828	18,022
利息及び配当金の受取額	19,046	17,288
利息の支払額	△2,750	△1,777
特別退職金の支払額	△8,000	-
法人税等の支払額	△39,990	△9,782
法人税等の還付額	-	2,620
営業活動によるキャッシュ・フロー	157,133	26,371
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△11,452	△71,301
有価証券の売却による収入	-	18,050
固定資産の取得による支出	△23,468	△6,839
投資事業組合からの分配による収入	13,500	19,240
その他の支出	△1,016	-
その他の収入	-	494
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,437	△40,357
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△50,000	-
長期借入金の返済による支出	△199,598	△113,000
自己株式の取得による支出	△471	△116,209
リース債務の返済による支出	△1,789	△1,653
配当金の支払額	△58,622	△81,427
財務活動によるキャッシュ・フロー	△310,482	△312,290
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△175,786	△326,276
現金及び現金同等物の期首残高	3,244,035	3,587,077
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,068,249	3,260,801

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。